

第51期中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

FUJICCO



私たちは取り組んでいます

おいしさと安全のために

健康
創造企業

現代人の食と栄養のために

いつもお客様とともに

「おいしさ」と「健康」と「あんしん」を食卓に。

トップメッセージ

■ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

■当第2四半期の事業環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に耐久消費財を中心とした持ち直しの動きが見られますが、食品業界では、販売店の売上高は一進一退の動きとなっており、市場環境は依然として厳しい状態が続いております。

■当第2四半期の取組みと業績

このような状況下、当グループでは、市場ニーズに適合した商品の開発・改善を進め、単身世帯の小容量へのニーズに応える「おかず畑プチデリ」シリーズを発売したほか、8月には主力商品である「おまめさんレギュラー」の砂糖を10%カットするリニューアルを実施し、また、食べきりサイズのおまめさん「こだわり煮豆」シリーズを発売しました。

研究開発活動では、「黒大豆の生体内抗酸化作用を実証」「カスピ海ヨーグルトの風邪・インフルエンザに対する効果を確認」などの学会発表を行いました。

販売面におきましては、黒豆製品や「生姜こんぶ」の好調に加え、調味料としての使い方を提案することで塩吹昆布の「ふじっ子」が堅調に推移したほか、おかず事業として注力している包装惣菜の「おかず畑」や日配惣菜、独特の粘り食感が特徴の「カスピ海ヨーグルト」などが売上を伸ばしました。

製品分類別では、昆布製品、豆製品、そう菜製品、

デザート製品が前年同四半期実績を上回り、その他製品はわずかながら前年同四半期実績を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は253億14百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益は13億19百万円(前年同四半期比10.7%増)、経常利益は14億44百万円(前年同四半期比10.1%増)、四半期純利益は8億円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

■今後の見通しとビジョン

今後の国内景気につきましては、更なる円高や株安も懸念され、厳しい雇用・所得環境が続く、市場の競争は激しさを増すなど、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況下、当グループといたしましては、11月7日に迎えました創業50周年を契機として、全社一丸となって次の成長に向けた目標にチャレンジしてまいります。そして、お客様第一の原点に立ち返り、商品の開発・改善に取り組み、地道な営業活動を通して商品の売場確保に努め、コストダウンの徹底により強い企業体質への転換を図り、お客様に愛される「すこやかフジッコ」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長

福井 正一



食育活動さらに充実!

●黒豆作付け・収穫体験イベント開催

一般から募集した親子(小学生)をご招待して、丹波篠山の畑で開催、12月には料理教室も

黒豆作付け体験イベント

開催日時:2010年7月3日(土)

参加者:19組38名の親子



あいにく雨天となり、午前の部は室内で、黒豆の講義と豆まき。トレイに土を入れて一粒ずつ黒大豆を置いていきました。昼食には旬の野菜とフジッコの商品を使ったカレーを食べ、続いて実際の葉っぱを用いた野菜当てクイズを行いました。悪天候のため、メインイベントの作付け体験の実施は危ぶまれましたが、幸い一時的に雨がやみ、体験することができました。参加したお子様、親御様からは、「初めて黒豆を植えたのでとても楽しかった」「子どもと一緒に貴重な体験が出来た」といった嬉しいご意見をいただきました。



黒豆収穫体験イベント

開催日時:2010年10月23日(土) 当日は晴天、大きく実った

参加者:22組44名の親子 丹波篠山黒枝豆の待ちに



待った収穫体験。大きな株をハサミで切り、葉を落とし、サヤを取ったりしました。収穫したばかりの枝豆は、お昼ごはん、ゆでたり黒豆ごはんにして試食しました。今年は豆卸業の小田垣商店の見学なども加わり、豆の流通についても学びました。参加したお子様、親御様からは、「あらためて多くの方の手がかり、心が込められて食卓に届いていることを感じた」という感想をいただきました。



黒豆おせち

料理教室(予定)

開催日時:2010年12月4日(土)

2つのイベントにご参加いただいた親子の中から15組30名をご招待して開催。10月23日に刈り残した黒枝豆が、乾燥後黒大豆となったものを、お正月用の煮豆にする調理を実習していただきます。

●「食育ミュージアム」を小学校の校外学習や一般向けにオープン

「昆布」と「豆」について楽しみながら学べる施設



昨年より関係者向けにのみ限定公開してきた「食育ミュージアム」を、2010年6月の「食育月間」より、学校及び教育団体や一般の方も利用できる施設として本格オープンしました。6月から10月の間に、すでに448名のお客様にご来場いただいています。



本ミュージアムは「昆布」「豆」について楽しみながら学んでいただき、当社が推進する食育テーマ「食事バランス改善計画」による健全な食生活への理解を深めていただくため、本社内に恒久施設としてオープンしました。約200㎡のミュージアムは、「昆布」「豆」「食育」の3つのゾーンに分かれ、21の展示ブースでそれぞれの歴史や栄養について、ゲームを楽しみながら学ぶことができます。また、お箸の持ち方や正しい食事作法を学べる、フジッコ公式豆つかみゲーム「まめっ子くん」大会も定期的で開催して、子供だけではなく大人の方にもお楽しみいただいております。利用者からは「子供が豆好きになった」「食事作法、お箸の持ち方が正しくなった」といったご意見をいただいております。今後ご家庭における食育活動の一助となれば幸いです。

予約方法・アクセス <http://www.fujicco.co.jp/museum/index.html>

風邪の重症化に待った！カスピ海ヨーグルトに風邪・インフルエンザに対する効果を確認!!

長寿の国からの贈り物「カスピ海ヨーグルト」に秘められた神秘のチカラ…フジッコでは各研究機関との共同研究を通して、この神秘のチカラを解明し、健康長寿な生活のお役に立てるよう取り組んでいます。

ヨーグルトには、整腸作用や骨の健康に役立つ働きがあることはよく知られています。

では、カスピ海ヨーグルトにはどのような効果があるのか？

フジッコでは、これまでにたくさんの臨床試験や動物実験をもとに、

カスピ海ヨーグルトの独特のねばりのもとである

クレモリスFC株（カスピ海ヨーグルトの乳酸菌）と

そのクレモリスFC株が作り出すねばり成分[EPS]に、

さまざまな健康効果があることを解明してきました。

そして、今回新たに、カスピ海ヨーグルトの

風邪・インフルエンザに対する3つの効果を確認。その結果を、

第57回日本栄養改善学会学術総会、第57回日本食品科学工学会大会で発表しました。

これまでに明らかにされた

カスピ海ヨーグルトの健康効果

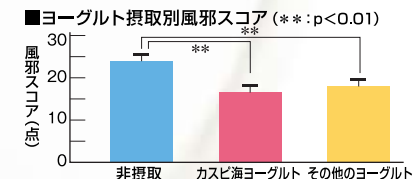


数珠つなぎになっているのがクレモリスFC株。クモの巣のようにまとわりついているのがEPS

カスピ海ヨーグルトから新たに発見された3つの健康効果

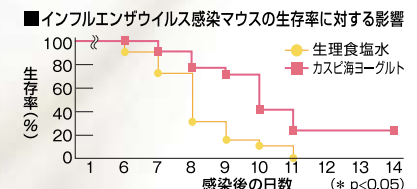
カスピ海ヨーグルトの摂取が風邪の重症化を抑制

武庫川女子大学国際健康開発研究所・所長 家森幸男先生とフジッコが、一般の方を対象に、ヨーグルト非摂取群、カスピ海ヨーグルト摂取群、その他のヨーグルト摂取群の3群に分け、2カ月にわたり調査・分析した結果、カスピ海ヨーグルトを食べていると風邪が重症化しにくく、また、食べる頻度が高いほどその効果も大きいことが明らかになりました。



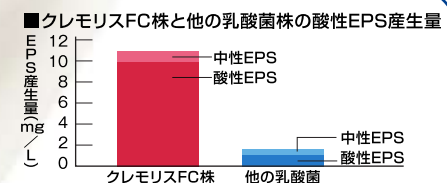
インフルエンザウイルスから体を守るNK細胞が活性化

大阪府立公衆衛生研究所の高橋和郎先生との共同研究では、インフルエンザ感染前と感染後の、カスピ海ヨーグルト摂取群と生理食塩水摂取群のマウスの体重と生存率を比較。その結果、カスピ海ヨーグルト摂取群のマウスは脾臓のNK細胞が上昇し、インフルエンザウイルス感染後の生存率が非摂取群と比較して有意に改善することがわかりました。



カスピ海ヨーグルトが免疫調整作用の強いEPSを多く産生

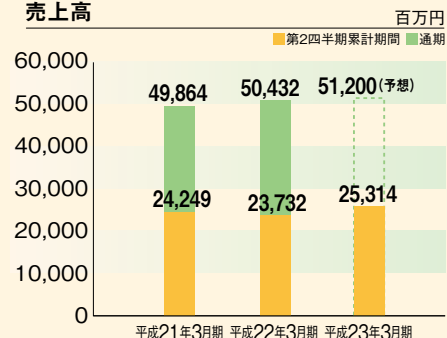
ヨーグルトの免疫調整作用は乳酸菌体だけではなく、乳酸菌が作り出すEPSによっても発揮されます。カスピ海ヨーグルトのクレモリスFC株と他の乳酸菌のEPS産生量を比べたところ、クレモリスFC株の方が産生量が多く、また、そのEPSは、大部分が免疫調整作用が強いといわれている高度にリン酸化された酸性EPSであることがわかりました。



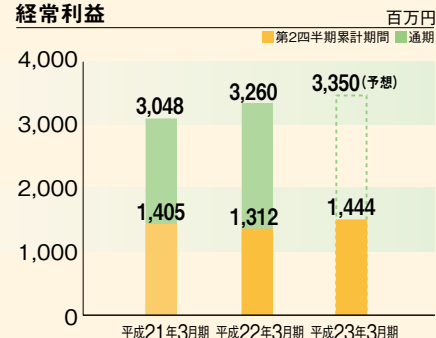
…だから毎日続けて! 風邪やインフルエンザに負けないカラダづくりを!!



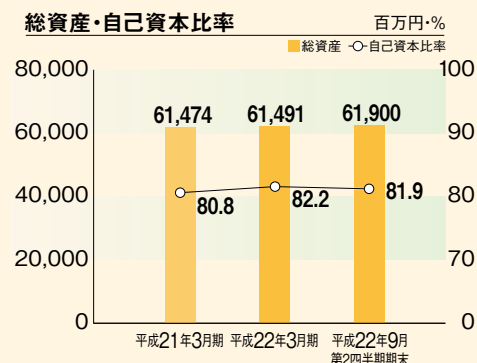
売上高



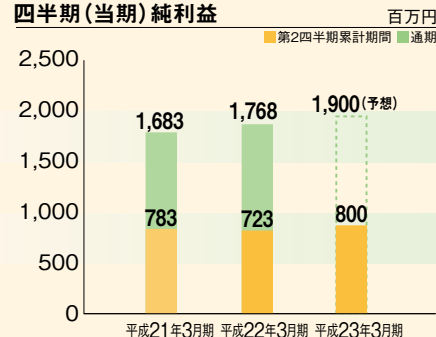
経常利益



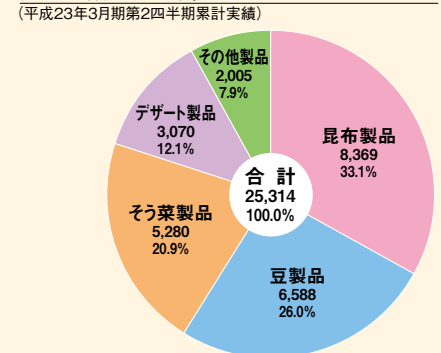
総資産・自己資本比率



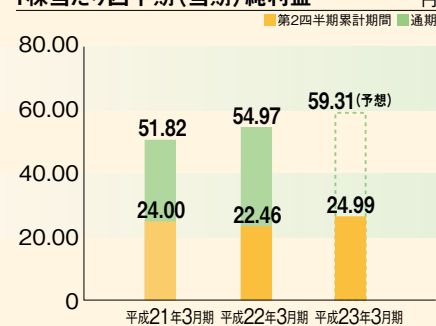
四半期(当期)純利益



製品分類別売上高



1株当たり四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (平成21年9月30日現在)	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	24,746	26,801	25,593
固定資産	36,618	35,098	35,898
有形固定資産	28,474	27,628	27,910
無形固定資産	1,834	1,441	1,638
投資その他の資産	6,309	6,029	6,348
資産合計	61,364	61,900	61,491
負債の部			
流動負債	9,066	9,174	8,820
固定負債	2,181	1,996	2,091
負債合計	11,248	11,171	10,911
純資産の部			
株主資本	49,964	50,703	50,352
資本金	6,566	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302	7,302
利益剰余金	39,079	40,024	39,672
自己株式	△2,984	△3,189	△3,188
評価・換算差額等	89	△37	163
その他有価証券評価差額金	89	△37	163
新株予約権	63	61	62
純資産合計	50,116	50,728	50,579
負債純資産合計	61,364	61,900	61,491

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	23,732	25,314	50,432
売上原価	14,847	15,587	31,233
売上総利益	8,885	9,726	19,199
販売費及び一般管理費	7,693	8,406	16,197
営業利益	1,192	1,319	3,001
営業外収益	138	135	297
営業外費用	18	10	37
経常利益	1,312	1,444	3,260
特別利益	0	33	11
特別損失	19	80	171
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,292	1,397	3,100
法人税、住民税及び事業税	540	548	1,384
法人税等調整額	28	48	△52
少数株主損益調整前四半期純利益	-	800	-
四半期(当期)純利益	723	800	1,768

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,216	1,743	4,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	△548	△634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△998	133	△2,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-	△0
現金及び現金同等物の増減額	947	1,328	1,038
現金及び現金同等物の期首残高	10,089	11,127	10,089
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	11,036	12,455	11,127

■会社の概要 (平成22年9月30日現在)

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	昆布製品、豆製品、そう菜製品及びデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,299名
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業所	全国25拠点
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ●フジコン食品株式会社 ●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社 ●フジッコフーズ株式会社

■役員 (平成22年9月30日現在)

代表取締役会長	山岸 八郎
代表取締役社長	福井 正一
専務取締役	関 武司
専務取締役	奥平 則明
常務取締役	上田 秀彰
常務取締役	原宗 三喜
常務取締役	籠形 徳夫
取締役	萩原 一郁
取締役	石郷岡 隆夫
取締役	岩井 邦吉
取締役	石田 隆茂
取締役	河内 章史
取締役	山崎 史也
非常勤取締役	北島 勝重
非常勤監査役	山田 博
監査役	國澤 正太郎
監査役	渡邊 秀明
監査役	高橋 秀明

社会・環境への取組みのご紹介

フジッコは「チャレンジ25キャンペーン」に参加しています。

未来が変わる。日本が変える。



チャレンジ25とは、2010年1月14日より、新たにスタートした地球温暖化防止のための国民運動です。「チャレンジ25キャンペーン」の企業・団体チャレンジャーとして、25のアクションに取り組んでいきます。

フジッコの「社会・環境報告書2010」をHPに掲載いたしました



<http://www.fujicco.co.jp/corp/environment.html>

フジッコでは、2004年より社会・環境報告書を発行しております。過去の報告書もHPからご覧いただけます。

中間配当金について

当社定款の規定に基づき、平成22年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金を支払います。

- 1 中間配当金 1株につき金15円 (普通配当14円、記念配当1円)
- 2 効力を生じる日 平成22年12月3日

■株式の状況 (平成22年9月30日現在)

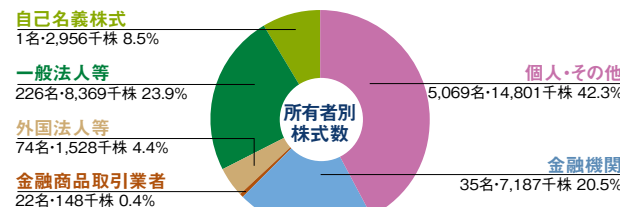
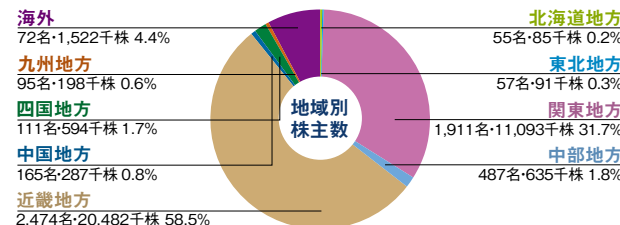
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	5,427名

■大株主の状況 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	4,700	14.67
山岸 八郎	1,736	5.42
山岸 英子	1,393	4.35
福井 正一	1,375	4.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.79
住友生命保険相互会社	854	2.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	764	2.38
日本生命保険相互会社	687	2.14
田中 久子	616	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	606	1.89

(注) 1. 大株主上位10名を記載しております。
2. 当社は、自己株式2,956,929株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
3. 持株比率は、自己株式2,956,929株を控除して計算しております。

■株式分布状況 (平成22年9月30日現在)



(注)「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

ご 注 意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、大豆油
インキを使用しております。

食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして

フジッコ株式会社

神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

<http://www.fujicco.co.jp/>

